

平成22年度(後期) 経営協議会学外委員からの意見等に対する本学の対応状況

平成23年6月

	開催日時	議題名等	学外委員等からの意見	本学の対応
1	22.11.25(51回)	その他	奄美豪雨災害の調査に関し、調査結果が生かされるようにお願いしたい。	<p>平成22年10月の奄美豪雨災害を受け、学部横断的調査研究チームを組織し、学長裁量経費(平成22年度及び平成23年度で措置)により総合的調査研究を行っており、得られた成果に基づいて実態と特徴について把握するとともに、防災対策の在り方や地域振興策に関する防災提言としてまとめ、平成23年10月に地元へ還元するためのシンポジウムを開催する予定である。</p> <p>また、鹿児島大学地域防災教育研究センターを設置し、地域連携を通して、災害の実態把握と仕組みの解明、予測、防災教育、災害応急対応、災害復旧復興等の諸課題に全学的に取り組む体制を構築し、地域に貢献することとしている。</p>
2	22.11.25(51回)	その他	大学作成のハラスメントリーフレットを学生に配布するなど、学生への啓発活動にも努めていただきたい。	<p>毎年度、入学時に「ハラスメントリーフレット」、「ハラスメントのない大学を目指して」及び「アルハラ防止のパンフレット」を配布し、啓発に努めている。</p> <p>また、ハラスメント防止対策として、従来より、ハラスメント防止のための研修会を実施してきたが、特に、平成22年度においては、全教職員を対象に、ハラスメント対策に係るDVDの上映会を実施し、ハラスメント防止に対する意識の更なる向上を図った。</p> <p>平成23年4月より、職員、学生等が、ハラスメントの加害者又は被害者にならないようにするために「鹿児島大学ハラスメント防止のための指針」及び関連規則等を大学HP内の『ハラスメント相談窓口』に掲載し、周知することによって、より一層の意識改革及び相談しやすい体制となるよう努めている。</p>
3	22.12.20～12.24(52回)	その他	地球温暖化対策対応については、モニター設置、「見える化」後の取組など、対策が重要と思われるので更なる取組を期待したい。	<p>地球温暖化対策については、「鹿児島大学における地球温暖化対策に関する実施計画」を策定し、エコライフの実践(「見える化」によるエネルギー使用料の抑制など)、エコ体質への改善(環境負荷の小さな機器等の導入など)、エコチャレンジ(再生可能エネルギーの導入など)を実施し、環境先進キャンパスの実現を目指すこととした。</p>
4	23.1.27(53回)	北米教育研究センターの法人登記について	遠隔講義において「国際イノベーション概論」(共通教育科目)が受講者8名で少ないように思われる。	<p>2010年度後期からの開始でPR不足だったことに起因するもので、今後、発展させていきたい。</p> <p>また、共通教育の科目として内容が高度だったのではないかとこの観点から、大学院向けの講義として開講の是非を現在検討中である。</p>
5	23.1.27(53回)	平成23年度概算要求内示について	口蹄疫や鳥インフルエンザの発生に鑑み、平成23年度概算要求で認められた越境性動物疾病制御研究センターに関し、認められた専任教員1名で運営することは難しいと思われるので、学内措置により人員及び施設整備を充実させていただきたい。	<p>越境性動物疾病制御研究センターは、平成24年度に設置予定の共同獣医学部(山口大学との共同教育課程)の附属施設に移行する。共同獣医学部は、現在の農学部獣医学科教員定数28名をセンターに措置された1名を含め33名体制とし、一体となった運営並びに充実を図っていくこととしている。</p>
6	23.3.17(55回)	平成23年度計画(原案)について	就職活動支援に対しては、よりきめ細かい支援、学生どうしが共に語り合えるような場の確保が必要である。	<p>厳しい就職環境の下で学生達のストレスも高まっているため、保健管理センターと連携した就職支援や指導教員と学生のコミュニケーションの強化に努めると同時に、23年度から、就職活動のストレス対処法をテーマにしたガイダンスや教職員向けの講演会を実施するなど、学生のメンタルケアを充実させる予定である。また、学生同士が気楽に悩みを語り合える場としては、内定を得た4年生達を中心となって後輩学生の就職活動を支援するグループがあり、就職支援センターも側面から支援しているが、今後もこの活動が一層活発に行われるよう支援していく。</p>